

- 問1 群馬県沼田市から東京都の大田市場まで農産物を輸送する場合、一般道路を利用すると約300分かかりますが、高速道路を利用すると約150分に短縮されます。このように、農業において高速道路網を活用した輸送時間の短縮を図る最大の目的として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 長野県公立入試 類似)
- 一般道路の渋滞を避けることで、排気ガスによる農作物への直接的な被害をなくするため。
 - 鉄道輸送に切り替えることで、一度に大量の穀物を遠方の港まで運ぶため。
 - 輸送コストを最小限に抑えるために、数日かけてゆっくりと市場へ届けるため
 - 農産物の鮮度を保ったまま、収穫したその日のうちに都市部の店頭へ並べるため。
- 問2 「年間の日照時間」と「住宅用太陽光発電機器の設置数」の関係を示したデータにおいて、日照時間が2000時間を超えるほど長い地域は、一般的に設置数も多くなります。しかし、関東地方に位置するある県は、日照時間が長いにもかかわらず設置数が5万件を下回っており、静岡県や愛知県などの他の太平洋側の県とは異なる傾向を示します。横浜市の県庁所在地に持つこの県はどこですか。
(2023年 秋田県公立入試 類似)
- 東京都
 - 千葉県
 - 埼玉県
 - 神奈川県
- 問3 東京都心部の地価が周辺の郊外地域に比べて著しく高くなっている主な理由として、都市の機能と土地利用の観点から最も適切な説明はどれですか。
(2022年 福島県公立入試 類似)
- 都心部は郊外に比べて人口密度が低く、豊かな自然環境を維持するための管理費用が地価に上乗せされているため。
 - 都心部は建物の高さ制限が郊外よりも厳しいため、1階あたりの土地利用料を高く設定する必要があるため。
 - 都心部には広大な農地や工業用地が確保されており、食料生産や製造業の拠点としての需要が集中しているため。
 - 都心部には官公庁や企業のオフィス、商業施設が高度に集積しており、土地利用の効率性と経済的価値が高いため。
- 問4 東京都心部などの大都市の中心地域において、昼間の人口が、その地域に居住している夜間の人口を大きく上回る現象がみられます。この現象が起こる主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。
(2018年 山形県公立入試 類似)
- 都市の過密化を避けるために、工場や大学が都心から郊外へと移転したため。
 - 周辺の住宅地域から、多くの人々が仕事や学びのために通勤・通学してくるため。
 - 都心部の再開発により、大規模なマンションが建設されて居住人口が急増したため。
 - 観光客の増加に伴い、夜間に滞在する宿泊施設が都心部に集中しているため。
- 問5 関東地方の農業統計において、生乳の出荷割合が上位である北部の内陸県について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2016年 秋田県公立入試 類似)
- 群馬県は、山地や高原が多い地形を活かして酪農が盛んに行われており、生乳の生産量は全国でも上位に入っている。
 - 栃木県は、平野部が広いため稲作が中心であり、家畜の飼育は関東地方の中でも非常に少ない傾向にある。
 - 茨城県は、太平洋に面した長い海岸線を持ち、内陸部よりも沿岸部での酪農が産業の中心となっている。
 - 埼玉県は、東京都に隣接しているため、生乳の生産よりもコマツナやホウレンソウなどの近郊農業に特化している。
- 問6 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。
(2023年 山口県公立入試 類似)
- 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。
 - 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
 - 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。
 - 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。
- 問7 地形図において、国道20号線を示す太い道路に対して、旧街道である甲州街道が直角に交わり、アルファベットの「T」の字のような形状で合流している地点があります。このような形状の交差点を何と呼びますか。
(2019年 東京都公立入試 類似)
- スクランブル交差点
 - 十字路
 - 環状交差点 (ラウンドアバウト)
 - 丁字路 (丁字型交差点)
- 問8 群馬県の嬬恋村などの高原地域で、夏から秋にかけてキャベツの出荷が盛んに行われる理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2018年 兵庫県公立入試 類似)
- 成長を早めるために、ビニールハウスなどの施設を利用して人工的に温度を上げているから。
 - 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているから。
 - 冬の温暖な気候を利用して、他の地域よりも早い時期に出荷する促成栽培を行っているから。
 - 広大な平野を活用し、大型機械を導入して大規模な土地利用型農業を行っているから。
- 問9 東京都の昼夜間人口比率が111%以上と日本で最も高い水準にある一方で、埼玉県や千葉県ではその数値が100%を大きく割り込んでいる理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2026年 青森県公立入試 類似)
- 埼玉県や千葉県には工場が集中しており、夜間に労働者が集まる構造になっているため
 - 埼玉県や千葉県はベッドタウンとしての性格が強く、昼間に東京都へ通勤・通学する流入人口が多いため
 - 東京都は他の道府県に比べて人口密度が低く、常住人口が極端に少ないため
 - 東京都の出生率が埼玉県や千葉県に比べて圧倒的に高く、年少人口が急速に増加しているため
- 問10 2023年の農林水産統計において、はくさいの生産量が約25万トンに達して全国1位となり、あわせてねぎの生産量でも全国トップを記録している県があります。東京都などの大都市に近い立地を活かし、野菜の供給基地としての役割を担っているこの県の名称を答えなさい。
(2026年 福島県公立入試 類似)
- 群馬県
 - 千葉県
 - 茨城県
 - 長野県
- 問11 千葉県の観光統計において、訪日外国人の延べ訪問者数が全国3位であるのに対し、一人当たりの旅行消費単価が全国46位と著しく低い状況から読み取れる、地域の課題として最も適切なものはどれか。
(2025年 千葉県公立入試 類似)
- 一人当たりの旅行消費単価を上げるために、成田国際空港の着陸料を大幅に値上げして観光客の質を高めること。
 - 成田国際空港の利用者数が全国的に見て減少傾向にあるため、空港の認知度を高めて訪問者数を増やすこと。
 - 県内の宿泊施設が不足し、延べ宿泊者数が訪問者数を大幅に上回っている状況を改善するためのホテル建設。
 - 成田国際空港から入国した外国人が、県内に宿泊・滞在せず他道府県へ移動してしまう「通過型観光」からの脱却。
- 問12 日本の河川と関東地方の冬の気候について述べた文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。
(2026年 徳島県公立入試 類似)
- 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
 - 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
 - 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
 - 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。